

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASKA club pure		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しく身体を動かす活動の中に療育的な要素を取り入れ、子ども一人ひとりが「できた」という達成感を積み重ねられるよう支援しています。これにより自己肯定感を育み、自分の力に自信を持って主体的に取り組めるようになることを目指しています。	お子様一人ひとりの個性や特性に応じたプログラムを検討し、「楽しい」「もう一度取り組みたい」と感じられる活動を提供することで、意欲を引き出す支援に努めております。	サーキットトレーニング等も取り入れ、お子様自身がコースを考えて作る活動を通して、想像力の向上にも取り組んでおります。
2	ご家族との対話を大切に、お子様の成長を共に見守るパートナーとしての関係づくりに努めております。	送迎時の会話やHUGの記録等を活用し、施設でのお子様の様子を丁寧に共有するとともに、ご家庭での様子についても伺いながら、悩みや喜びを相互に共有できる関係性の構築に努めております。	いただいたご意見やニーズを支援計画に反映し、ご家庭と事業所が一貫した方針のもとでお子様を支援できるよう、日々のコミュニケーションを深め、信頼関係の強化に努めてまいります。
3	職員間における徹底した情報共有のもと、チーム全体でお子様の安全確保と成長支援に取り組んでおります。	毎日朝礼を実施し、前回の活動内容やお子様の様子について報告・共有を徹底することで、スタッフ間で円滑な情報共有が行える体制を整えております。また、活動内容についてもスタッフ間で話し合い、その目的や意図を確認しながら、より良い支援の提供に努めております。	日常的に職員同士が声を掛け合い、小さなことでも報告・共有を行うことで、円滑なコミュニケーションを図り、チームワークを大切にした支援体制を整えております。また、お子様が楽しく活動できるよう、職員間で話し合いを行いながら活動内容の工夫・充実に努めております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々に、当施設(児童発達支援・放課後等デイサービス)への理解を深めていただくとともに、広く知っていただく必要があると考えております。	現在、保育所等への訪問の実施や、チラシ等を活用した広報活動については、十分に組み立てていない状況があります。そのため、関係機関や地域への周知・連携の機会が限られていることが課題となっています。	保育所等への訪問機会を計画的に設け、関係機関との連携強化を図ってまいります。また、チラシ等の広報物を作成し、掲示や配布を通じて事業所の取り組みや支援内容の周知に努めてまいります。
2	災害時の安全対策に関する保護者の皆様への周知・共有が不十分であることが課題となっています。	マニュアルや掲示物の設置場所が限定されているため、保護者の皆様が目につく機会が少ないことが課題となっています。	災害時対応マニュアルを図やイラストを用いて視覚的に分かりやすい内容へと見直すとともに、定期的な確認機会を設けることで、保護者の皆様への周知および再確認の徹底を図ってまいります。
3			